神奈川県保険医協会
相模原支部ニュース
第191号
2026
4.25

小児医療費助成の県内18歳まで完全無償化へ
相模原支部が早期実現を要望

相模原支部は2025年12月8日、相模原市の小児医療費助成に関連して、こども・若者未来局子育て給付課に対し「小児医療費助成の対象拡大の早期実現を求める要望書」と題する要望書を送付した。

小児医療費助成については県内各市町村で拡充が進み、2025年までに横浜市、川崎市、相模原市を除いてワンコイン等の一部負担金の有無を含め、18歳まで完全無償化を達成していた。昨年12月には山中横浜市長がそれまで中学校3年までであった対象を2026年度中に18歳までに拡大する方針を示したほか、福田川崎市長も、2026年度中の18歳までの対象拡大、通院時の一部負担金を撤廃すると表明していた。これに対し、本村相模原市長も2027年4月から所得制限と一部負担金を撤廃する方針を示し、県内で18歳までの医療費無償化が実現する見込みとなった。

相模原市の対応が神奈川県下で最も遅くなったことから、相模原支部では早期実現の要請を書面にて送付。要望書では、県内全市町村で小児医療費の無償化が達成された点は評価する一方、より早期の実現を本村市長に求めている。

回答は2025年12月10日に電話にて子育て給付課佐々木氏から支部担当事務員が受けた。それによると、▼現状、市長自体も記者会見で導入を早めたい意向が示されている。▼また小児医療費助成制度の一部負担金の撤廃についてはシステム改修が必要なため、システム開発業者と調整しているところである。▼ただ、市の代表質問でもあった通り、国のDX推進の影響でシステムエンジニアの不足が顕著で、思うように進まない状況である。▼県基準の引き上げや国の制度としての実現要望についても、これまでも行ってきており、続けていきたいと思っているーとのことであった。

保険料を支払った後に一部負担金が生じる点や、収入の多寡で負担が変わる点などの不合理に対する一定の改善となった。

第59回相模原支部総会のご案内

と　　き：2026年5月13日（水） 午後7時50分から
と こ ろ：小田急ホテルセンチュリー相模大野内 8階「みずなら」
神奈川県相模原市南区相模大野3−8−1　相模大野ステーションスクエア8F

総会議事 **午後7時50分から**
議　　題：第1号議案　2025年度活動報告の承認を求める件
第2号議案　2026年度活動方針（案）の承認を求める件
第3号議案　支部役員選出の件
参加対象：支部会員

記念講演 **午後8時15分から**（質疑応答含む45分）

テーマ：「医療者が知っておきたいPFASの話」

有機フッ素化合物の総称であるPFASは、優れた撥水・撥油性を背景に、泡消火剤や塗料、調理器具のコーティングなど、使用が広がっている。一方で、環境中で極めて分解されにくく、生体内蓄積の特性や発がん性、心血管疾患などとの関連も指摘される。国際的に使用規制が進む中、相模原市の道保川の魚類から高濃度のPFASが検出されるなど、身近な地域で環境汚染が報告されている。

講演では、PFASの基礎知識から健康影響に関する最新の知見、さらには臨床現場における留意点までをお話しいただく。

講　　師：さがみ生協眼科・内科　内科部長　牛山　元美　氏
参加対象：会員（医療機関スタッフ、ご家族も可）　**定　　員：20名**
※総会議事、記念講演の参加申込は相模原支部担当まで（☎045-313-2111）

相模原支部　LINE WORKS（ラインワークス）へのお誘い

相模原支部では、LINE感覚で会員同士が相互交流できるコミュニケーションツールを活用しています。
会員への迅速な情報配信や会員ニーズの把握を目的としています。
現在、支部幹事12名、一般会員17名が参加しています。

対　　象：神奈川県保険医協会 相模原支部会員
管 理 者：保険医協会 相模原支部 副支部長　関 知之
お問合せ：電話☎045-313-2111（相模原支部事務局あて）

城跡ハイキング 第9弾
小田原攻め 見下ろす圧巻の石垣

2026年4月5日、相模原支部は恒例の城跡巡りを「小田原石垣山一夜城跡」をテーマに行った。支部会員やその家族等17名が参加。ガイドは小沼副支部長の他、小田原ガイド協会神田氏などが務めた。

雨天中止も危惧されたが、当日は〝ぬかるみ〟すらほとんどないハイキング日和となった。参加者はわずか80日ほどで建造されたとは思えない見事な石垣を見学。石垣は加工を控えた自然石を使って積み上げる「野面積み」で、石工集団〝穴太衆〟の高い技術を見ることができる。その他、天守跡に残る瓦や小田原城と相模湾を見下ろす眺望にも触れ、歴史への思いを馳せた。

一同は一夜城・西曲輪跡での昼食後、みかん畑の旧い道を下り、早川港へ。道すがら満開の桜と眼下に広がる海を楽しんだ。早川港の小田原ちょうちん灯台を経由して、小田原駅に向かう道中、小田原宿観光回遊バス「うめまる号」に乗車しながら、小田原城の桝形門や土塁跡などもチェック。小沼副支部長の綿密な計画に基づき、今回の見学ポイントを制覇した。小田原駅では、ミナカ小田原14Fの展望足湯庭園に上り、小田原城とその西方にそびえる石垣山の位置関係を再度確認して解散した。

終了後には、有志12名が「小田原産朝どれ地魚が売りの湘南大衆横丁」で懇親会を開催。支部会員らの交流も行った。

▼石垣山一夜城
1590年、豊臣秀吉が小田原征伐で築いた城で、小田原城南西側の山の上に位置する。実際は80日かかったとされる工事を隠し完成後に一気に出現。敵に圧力を与えたことから一夜城と呼ばれている。

石垣山一夜城ハイキング参加記

相模原市中央区　小沼　博

小田原石垣山一夜城の支部ハイキング、参加の皆様とともに、和やかに無事過ごすことができ本当に良かったです。

前日の夜は雨と強風で、空と桜の具合が心配でしたが、当日は晴れ間もでて気温も25度という春のハイキング日和となりました。桜も、満開からの散り始めの見頃の桜となり、山を下るコースでは、花びらのじゅうたんが文字通り花を添えてくれました。

小田原ボランティア協会の石垣山一夜城ガイドつき散策70分は、あっという間の実りある時間となりました。

小田原ちょうちん灯台の海、回遊バスうめまる号からみた桜のトンネル、ミナカ小田原の屋上庭園での一夜城確認と足湯体験もよい思い出となりました。

自分的には、昼弁に選んだ名物駅弁鯛めしの、予想外にたっぷりの鯛おぼろが美味しかったし、懇親会での小田原定番アジフライ、刺身、梅シラスおにぎりもうまかったです。

北条氏政の墓所で、自刃の石板を見学しましたが、氏政の亡霊から「小田原を楽しんでくれて良かった」と言われた気がしました。